

平成30年度事業計画

I, 基本計画

公益社団法人角田市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の役割は、地域社会に会員の多様な働き方を通じて貢献することにある。

角田市の人口は、平成30年1月末日現在で総人口は29,658人（男性14,657人・女性15,001人）、60歳以上は41.5%の12,300人（男性5,596人・女性6,704人）、65歳以上は33.3%の9,883人（男性4,382人・女性5,501人）という数値を示し高齢化社会が急速に進展し、センターの活躍が期待されている。

センターでは、地域のニーズに応じ一般家庭や企業、公共団体等からの仕事を受注すること、同時に会員を増やすことは喫緊の課題である。正会員の入会を勧め地域の仕事を受託し就業を積極的に推進するものである。

本年は、大河原ハローワーク相談室において、毎月第3金曜日午前10時から正午にセンター紹介ブースを開設し入会を推進する。

受託就業並びに派遣就業の推進と対応の強化については、さらなる新規の受託や派遣就業先の開拓を進める。

派遣事業は、適正就業の取り組みには不可欠の就業形態であり、会員の就業拡大にも結び付くことから発注者の理解を得ながら、たとえ短期間の就業に関しても積極的な対応を図る。

また、衛生委員会を構成し、委員および衛生管理者、産業医等を配置し就業会員が安全かつ安心して就業できるように図る。

以上このことは、当センター関係者が一丸となって取り組むべき重要な課題である。会員や各運営理事そして職員がそれぞれの役割に応じ、これらの課題に取り組むものである。

角田市委託事業の、「街なか交流サロン「ひだまり」」、「脳の楽習教室・いきいき百歳体操」は、地域の各団体との業務提携を図り、さらなる機能の充実を図る。

ワンコインサービス「おでっ隊」事業は、従来の就業の拡大を図り地域の高齢者の方々とのお話し相手や散歩の付添等の就業推進を図る。

また「空き家・空き地見回り管理」、「墓地の清掃管理」、「農業支援」等事業は、関係団体や企業との連携を図り事業の拡大を図る。

普及活動としては、角田市企画の「かくだふるさと夏まつり」、「傘宇姫ひなまつり」等へ参加し事業のPR活動を進める。

また、地域ボランティア事業としては「各地区拠点施設の除草・清掃」、「阿武隈リバーサイドマラソンコース除草・清掃」等を行う。

センターでは、会員の方々へ多くの就業機会を提供するとともに、地域社会の中で交流する楽しみを通じ、多くの市民の皆様にも多様なサービスを提供するものである。

II. 具体目標

	平成30年度目標	(平成29年度目標)
i 受託事業		
件数	2,500件	2,500件
就業延べ人数	35,000人日	35,000人日
契約金額	183,000千円	183,000千円
ii 労働者派遣事業		
件数	80件	70件
就業延べ人数	6,000人日	5,000人日
契約金額	40,000千円	35,000千円
iii 会員数・就業率		
会員数	460人	450人
就業率	95%	95%

III. 基盤拡大事業

1 受託事業

- 事業計画の具体目標に向けて、登録会員・各運営理事そして職員がそれぞれの役割に応じて、既就業先・新規就業先の開拓および拡大に努める。

発注者の依頼内容を確認し、関係者と連絡調整を図り速やかに対応し、お客様の満足度を高める。就業先でのクレーム対応については、関係者と連絡調整を図り速やかに対応する。

2 派遣事業

- 派遣就業は、安全就業の為に教育訓練や有給休暇の適正な管理を図る。

また、衛生委員会を構成し、衛生管理者・産業医等を配置し毎月1回開催する。派遣会員については、センターが定める「健康診断自己チェックリスト」の提出を促す。さらに自動車運転業務に携わる会員には、半年ごとの「交差点・安全運転度診断」・「ストレスチェックシート」の提出と面談の義務化を行う。

3 会員組織の拡大

- 会員の自主的・自立的な組織活動に積極的な参加を促す。
 - ・ 地域班活動の充実（班会議の定例化・ボランティア活動等での連携強化）
 - ・ 職域班の定期的な研修（部外研修および他シルバーへの移動研修の実施）
 - ・ 角田市地区振興協議会等にて正会員入会の促進について啓発活動を行う

4 普及啓発活動の推進

広報委員会を構成し地域にあらゆる方法で当センターの存在をアピールし事業拡大・就業拡大を図るための普及啓発活動を積極的に展開する。

- ・ 「広報かくだ（角田市）」・「河北あんふいに（目黒新聞店ミニコミ誌）」にシルバー事業内容の説明や新規会員募集記事の掲載
- ・ 「シルバー紹介冊子」を発行し事業内容や会員就業先の紹介を掲載
- ・ シルバー事業内容の紹介記事や会員募集を掲載したパンフレットを配布

5 安全就業の徹底

○ 安全管理委員会において「安全は全てに優先する」という意識を持ち、就業中や就業途上の安全対策を図る。草刈り班・剪定班については事故が発生すれば重篤事故に結びつきやすいので「安全就業マニュアル」、「ヒヤリハット表」を活用し安全就業に対する意識を高める。

- ・ 安全祈願祭の実施（7月）
- ・ 安全就業強化月間の制定（7月）
- ・ 安全パトロールの実施（7月・毎水曜日：8月～11月・第1水曜日）
- ・ 草刈り班は部外講師による安全就業研修および機械点検
- ・ 剪定班は安全就業研修および機械点検
- ・ 高齢者交通安全大会の実施（角田警察署および角田自動車学校との協定）

6 就業機会の確保

○ 会員へ就業の機会の確保を図る。

- ・ 未就業会員への呼びかけ。地区班長・世話人を通じての就業機会の相談
- ・ センター内および「ひだまり」サロンへの就業会員の募集公告
- ・ 会員就業時の現場や企業への訪問挨拶
- ・ 企業訪問を行い就業の拡大を図る

7 福祉・家事援助の充実

○ 超高齢化社会に対応すべく事業の充実を図る。

角田市委託事業の軽度生活支援事業や家事援助事業そして介護施設補助要員派遣事業の充実を図り、さらに事業に携わる会員の資質向上を図るため、傾聴講座・認知症サポーター養成講座等を企画実施する。

8 調査研究活動

- 当シルバーご利用の角田市民そして企業に対して、会員の就業状況や接遇対応に関するアンケートの実施。

- ・就業に対する発注者満足度アンケート調査
- ・会員の就業に関するアンケート調査
- ・角田市民へのニーズ調査

9 技能訓練研修の実施

- 就業要請に対応して行くために技能能力向上を図る。
 - ・ 剪定班 植木剪定初級コース講習会の実施（剪定班会員講師）
 - ・ 草刈り班 草刈り機械の取扱い講習会の実施。（宮城ヤンマー商会）
 - ・ 自動車運転 実車訓練および運転適性検査の実施（角田自動車学校）

10 地域ボランティア事業及び活動

- ボランティア活動を通じて、地域社会と会員相互の連携を図る。
 - ・ 角田市内各地区拠点施設の除草清掃作業（7月第3土曜日）
 - ・ 阿武隈リバーサイドマラソンコース除草清掃作業（10月第3土曜日）
 - ・ 市内各所における昔遊びの伝承
 - ・ 角田市保健福祉まつりへの参加

11 会員の福利厚生

- 会員親睦旅行委員会を立ち上げ、会員親睦旅行を実施し、会員相互の親睦・融和・協調を図る。
- 会員に対して、当センターが定める「健康診断自己チェックリスト」また、運転業務就業の会員には「交差点・安全運転度診断」・「ストレスチェックシート」の提出を求める。

IV. 角田市委託事業

1 街なか交流サロン「ひだまり」

- 街なか交流サロン「ひだまり」は開設4周年を迎える。ご利用者の方も年間延べ利用者数8,000人を数え盛況のうちに運営されている。
いきいき百歳体操については、医療法人本多友愛会と連携協定を結び理学療法士・作業療法士を迎え、利用者の満足度を高める。
平成30年度は、従来の会員による管理に加え、市内の各団体との連携を図りそれぞれの企画に協力を促しさらなる充実を図る。

2 いきいき百歳体操・脳の楽習教室

- 脳の楽習教室は、公文教育研究会と連携を図り、川島隆太先生の教材を活用し利用者の満足度を高める。